

入院のしおり



おおぞら病院
OOZORA HOSPITAL

医療法人同仁会 おおぞら病院

〒791-8555 愛媛県松山市六軒家町4番20号

TEL : 089-989-6620



目次

1.	入院の手続きについて	P1
2.	入院当日の予定について	P2
3.	入院中のスケジュールについて	P3・4
4.	入院・リハビリに関する Q&A	P5
5.	入院生活について	P6・7・8
6.	病院案内	P8・9
7.	「宝箱」（ご意見箱）のご案内	P9
8.	入院費用のお支払について	P9
9.	入院に関する診断書・証明書について	P9
10.	入院中の他医療機関受診について	P9
11.	個人情報の保護について	P10・11
12.	身体拘束最小化に向けた取り組み	P11・12
13.	患者サポート相談窓口のご案内	P12

1. 入院の手続きについて

- 1) 入院が決まりましたら、1 階総合受付で入院手続きを行います。
- 2) 入院時書類は、入院当日、又は入院後数日内にご提出下さい。

【入院時にご用意いただくもの】

《必ずお持ち下さい》

- ☐ 入院申込書（兼入院誓約書）
- ☐ マイナンバーカード（健康保険証）・介護保険証
- ☐ ご入院される方への質問表
- ☐ 現在使用中のお薬、お薬手帳
- ☐ 退院証明書

《該当される場合》

- ☐ 限度額適用認定証（高額療養費の限度額を超える支払いが免除になります）
当院ではご本人の同意があれば、オンライン資格確認にて限度額適用認定証の照会ができます。希望される方は入院申込書の記入欄「同意します」にチェックをお願いします。
- ☐ 個室利用申込書兼説明・同意書
- ☐ 保険外費用申込書兼同意書

《ご準備いただくもの》 ※持ち物に名前の記入をお願いします。

- ☐ 洗面用具（洗面器、歯ブラシ、コップ、石鹸またはボディソープ、シャンプー、リンス、ヘアブラシ）（必要な方：電気シェーバー、義歯洗浄剤、義歯入れ）
- ☐ 食事時に使うもの（食事用エプロンなど）
- ☐ 日用品（タオル 5～6 枚、バスタオル 2～3 枚、下着、パジャマ、箱ティッシュ、イヤホン（大部屋）、洗濯物を入れる袋（レジ袋等で可）、保湿クリーム（市販品で可）等
※リハビリをされる方は、動きやすい服装、運動靴をお持ち下さい。
※転倒防止のため、病棟でのスリッパの使用は禁止しております。
- ☐ クッション…必要な方のみ（寝返りできない方、姿勢が上手くとれない方など）

《お願い》

事故防止のため、刃物類（はさみ・カミソリ、爪切り、カッターナイフ等）の持ち込みは原則としてご遠慮いただいております。

【紙おむつについて】

紙おむつご希望の方は、当院にてご準備しております（有料）

2. 入院当日の予定について

病棟に入棟後は以下のことを行います。

- 入院オリエンテーション
入院中の生活について説明します。
- 病棟内の説明
実際に病棟内を案内しながら、場所の説明や非常階段・非常口の説明をします。
- 入院前の生活についてお話を伺います。
入院前の生活について伺い、入院中の生活の参考にさせていただきます。
- 内服中、使用中のお薬について、薬剤師がお話を伺います。
薬の内容や副作用の確認、内服薬の管理について確認します。
- リハビリ評価について
リハビリ目的で入院された方は、入院日の 13 時 45 分からリハビリ評価を行います。主治医、セラピスト（※）、相談員、看護師がお部屋に伺い、以下について検討します。（ご家族の方の同席をお願いします）
- 書類の説明
入院診療計画書やリハビリテーション実施計画書、転倒転落予防に関する書類等について説明します。

《リストバンド着用のご協力とお願い》

- 患者誤認防止を目的に、リストバンド着用のご協力をお願いしています。入院期間を通してすべての患者さんに着用していただいていますので、ご了承お願いします。

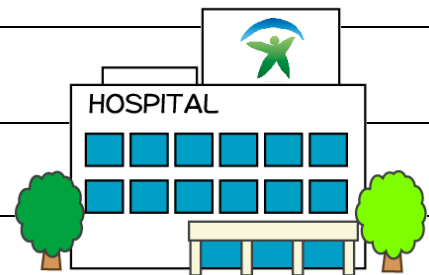
《リハビリ評価内容について》

- 現在どの程度身体が動かせるか
セラピストが関節の曲がり具合や筋力の強さを確認します。また、起き上がり動作や車椅子への移り方、歩き方の動きを確認します。
- 入院中の生活について
確認させて頂いた動きを元に、食事はどうするか、入浴方法はどうか（シャワー浴や機械浴）、トイレはどの方法にするか、移動はどのような方法にするか（補助具等も含めて）を検討します。
- 今後の目標設定
退院時の目標を考え、どのようになれば退院とするのか、目標設定をします。

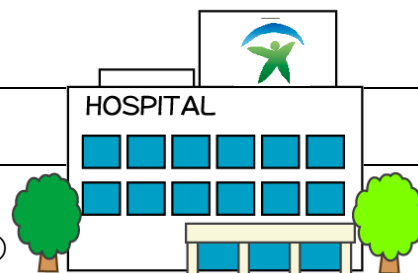
※セラピスト：リハビリスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）の総称

3. 入院中のスケジュールについて

【3階】一般病棟・地域包括ケア病床	
6 時	起床・洗面・着替え 看護師巡回（採血）
7 時	朝食準備、血糖測定（必要な方）
8 時	朝食、歯磨き
9 時	検温、点滴、検査、整容（身だしなみを整えます） リハビリ（8：40～12：00）（患者さん毎のスケジュールに沿って行います） 入浴開始（介助の必要な方は週 2 回で順番に入浴していきます） （自立して入れる方は毎日 9～17 時の間に 30 分一枠で予約が取れます）
11 時	昼食準備、血糖測定（必要な方）
12 時	昼食、歯磨き
13 時	リハビリ（13：00～17：00）
14 時	起立訓練、リズム体操
15 時	室内のゴミ収集
17 時	夕食準備、血糖測定（必要な方）
18 時	夕食、歯磨き
22 時	消灯 （以後、0 時・3 時に看護師巡回があります。）

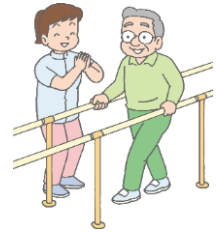


【4階】回復期リハビリ病棟	
6 時	起床・洗面・着替え 看護師巡回
7 時	朝食準備、血糖測定（必要な方）
8 時	朝食、歯磨き、食堂で血圧、脈拍、体温測定
9 時～	リハビリ（8：40～12：00）（患者様毎のスケジュールに沿って行います） 入浴（介助の必要な方：週 2 回で順番に入浴していきます） 病棟デイケア（リズム体操、健康体操） 看護師巡回
11 時	昼食準備、血糖測定（必要な方） 起立訓練
12 時	昼食、歯磨き
13 時	リハビリ（13：00～17：00） 入浴（介助の必要な方）
14 時	病棟デイケア（塗り絵、DVD 鑑賞、ゲーム、談話など） 自主訓練
15 時	ラジオ体操・起立訓練
17 時	夕食準備、血糖測定（必要な方） 自立して入浴できる方は毎日 17～20 時の間に 30 分一枠で予約し入浴できます。
18 時	夕食、歯磨き
22 時	消灯 （以後、0 時、3 時に看護師巡回があります。）



☆病棟デイケア：身体機能の維持や社会交流の一環として、毎日食堂で体操やゲームなどのレクリエーションを行っています。離床を積極的に行うことで体力向上・褥瘡予防・誤嚥性肺炎予防につながります。リハビリがない時間はできるだけ参加しましょう。

4. 入院・リハビリに関するQ&A



Q.どのようなリハビリを行っていますか？

歩行や着替え、整容、食事、歯磨き、トイレ、薬の管理、コミュニケーションなど、病棟生活のすべてがリハビリテーションです。医師、看護師、ケアワーカー、セラピスト等と患者さんとその家族でチームを組みます。患者さんが退院した後、地域で生活していくための目標を立て、必要な計画を提案します。自分の力で出来ることが増えるように、私たちと一緒に頑張っていきましょう。

Q.一日のうちどのくらいリハビリをしますか？

入院されている病棟（一般病棟、地域包括ケア病床、回復期リハ病棟）やリハビリの進行状況など諸条件によっても異なりますが、1日40分～180分の範囲で患者さん一人ひとりにセラピストが付きリハビリを行っています。リハビリは365日毎日提供できる体制が整っています。



Q.リハビリ以外の日中の過ごし方は？

起立訓練や入院デイケアを行っています。また自主訓練メニューの提案を行います。セラピストと行うものだけがリハビリではありません。日中を通して活動することで生活リズムが整い効率的に体力が改善します。

Q.食えることが不自由なのですが…

食えることは大切な生活の一部です。患者さんが安心して食事を楽しめるように、入院時に当院の定めとなる基準（年齢や疾患等）に該当する方はST（言語聴覚士）による嚥下評価を行います。また、必要な方は嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査を行います。評価をもとに、患者さん一人ひとりに合わせた食事形態や摂食方法を提案しています。



Q.退院後の生活が不安なのですが…

患者さんが退院後も自宅等の住み慣れた生活の場で、自分らしく生活していけるよう、退院後の医療や介護にかかわるスタッフと連携しています。必要に応じて退院までに家屋調査を行って必要な改修の提案をしています。また、当院の外来リハビリ、訪問リハビリなどを利用して徐々に安心して自宅で生活できるように支援しています。退院後の生活に少しでも不安があれば、遠慮なくスタッフにご相談ください。



5. 入院生活について

1) 起床・消灯

起床は午前 6 時、消灯は午後 10 時です。

2) 食事

(配膳時間)

朝食	午前 8 時
昼食	正午 12 時
夕食	午後 6 時

主治医と管理栄養士により、病状に応じて適切に栄養管理された食事を適時適温で提供しています。

(※食物アレルギーのある方は入院時にお申し出下さい。)

また、外出などにより、お食事が不要となった場合(食止め)は、下記の時間までにお申し出下さい。

昼食のしめきり時間……午前 9 時まで

夕食のしめきり時間……午後 2 時まで

翌朝食のしめきり時間…午後 4 時まで

この時間を過ぎますと、既にお食事の準備ができておりますので、負担金が必要となります。

3) 入浴

3 階はシャワー室と特殊浴室

4 階は一般浴室と介護浴室があります。

入浴の曜日と時間帯は、入院時に看護師より説明致します。

4) 洗濯

コインランドリーは 3 階と 4 階にあります。

(有料 洗濯機 100 円/回、乾燥機 100 円/30 分)

洗剤は各自でご用意下さい。

物干し場がありませんので、自動乾燥機をご利用下さい。

衣類等(水洗いできるもの)の洗濯は、外部委託サービスも利用できます。

ご希望の方は、看護師にお申し出下さい。

料金は 1kg 517 円(税込)です。

5) シーツ交換

シーツ交換は週 1 回(3 階一月曜または火曜、4 階一火曜または水曜)となっております。なお、汚れた場合は適宜交換致しますので、看護師にお申し出下さい。

6) **付き添い**

付き添いの必要はありませんが、患者さんの病状によってご家族が付き添いを希望される場合は、看護師にご相談下さい。ただし、寝具の貸し出しはしておりませんので、各自で準備をお願いします。

7) **盗難予防**

盗難防止のため、現金や貴重品はお持ちにならないようお願いします。また、各床頭台に備え付けの金庫がありますので、小額でもご利用して頂き、必ず施錠をご確認すると共に、病室を離れる際は、鍵を所持するようお願いします。(鍵を紛失された場合は、別途費用がかかります。)

尚、万が一、盗難や紛失等があった場合も、当院は責任を負いかねますので、ご了承下さい。

8) **面会**

面会時間については、当院のホームページをご確認していただくようお願いします。(感染性疾患の流行等で面会が制限される場合があります)

患者さんの治療と十分な安静のために、下記のことをお守り下さい。

- ① 患者さんの病状によっては、面会をお断りする場合があります。
- ② 体調不良の場合、面会をご遠慮下さい。
- ③ 生花、生ものなどの持ち込みはご遠慮下さい。

9) **電話**

外からの電話の取次ぎは午前 8 時 30 分から午後 9 時までとなっております。公衆電話は 1・3・4 階にございますが、消灯後のご利用はお控えください。また、大部屋での携帯電話の使用はお控えください。

10) **外出・外泊**

外出・外泊を希望される方は、主治医の許可と届出が必要です。
前日までに看護師にお申し出下さい。

11) **電気機器**

使用可能なものは、以下のとおりです。

〈電気シェーバー・充電器・パソコン・ラジカセ・ドライヤー〉

上記以外の電気機器は、看護師にご相談ください。

テレビ・ラジオ使用に関して、大部屋の方はイヤホン使用をお願いします。

12) **テレビ、Wi-Fi、保冷庫の使用について**

テレビ、Wi-Fi、保冷庫等は、合わせて一日 220 円(税込)でご利用いただけます。Wi-Fi をご利用される方はパスワードが必要になりますので、看護師にお申し出下さい。なお、通信機器の設定および操作は、ご自身で行っていただくようお願いします。

13) お部屋の移動について

日常生活自立度の状況によってお部屋の移動をお願いすることがあります。

14) お名前の表示

当院では病室のお名前の表示をさせていただいておりますが、ご都合が悪い方は事前にお申し出ください。

6. 病院案内

5 階	屋上庭園「そらにわ」、自動販売機コーナー、多目的室、言語療法室
4 階	回復期リハビリテーション病棟、リハビリテーション室、食堂兼談話室、言語療法室
3 階	一般病棟、地域包括ケア病床、食堂兼談話室、薬局
2 階	リハビリテーションセンター、言語療法室、研修室
1 階	総合受付、外来、処置室、内視鏡センター、エコー室、栄養相談室、言語療法室、健康サポートセンター、生理検査室、放射線室、地域連携室、売店、自動販売機（屋外）

1) 禁煙

病院敷地内は全面禁煙です。ご協力をお願いします。

2) 売店・自動販売機

売店は1階にございます。日用品や洗剤、食品などを販売しています。

営業時間

（平日）午前9時～午後6時

（土曜）午前9時～午後1時

自動販売機は、1階（建物の東外側）、5階にございます。

3) 駐車場

病院敷地内に60台の駐車スペースがございます。

入院中の病院駐車場への駐車は固くお断りします。

7. 「宝箱」(ご意見箱)のご案内

1 階総合受付・1 階健診センター・2 階リハビリ室入口・3 階病棟・4 階回復期病棟に「宝箱」を設置しております。当院へのご要望等がございましたら、お気軽にご記入いただき「宝箱」にお入れください。オンライン宝箱もご利用ください(QR コードは院内に掲示しております)。
いただきましたご意見は今後の病院運営に活用させていただきます。

8. 入院費用のお支払いについて

1) 入院中の場合

毎月 10 日頃に先月分(月末まで)の入院費を計算し、請求書を病室へお配りします。入院費は原則 1 週間以内にお支払いください。《請求書を事務所預かりご希望の場合は、総合受付(入院担当)までお申し出下さい。》
またお支払方法については、直接窓口でのお支払い、デビットカード、クレジットカード(JCB・VISA 等)でのお支払いができます。お振込等ご希望の場合は、総合受付でお申し出ください。

2) 退院時の場合

退院される場合は、当日までの費用を退院日にお支払いください。
退院当日が日曜・祝日になる場合や時間外になる場合は、事務処理の都合上退院後の平日に請求書を発行します。請求書ができましたら、ご連絡いたしますので、原則 1 週間以内にお支払いください。
また、退院される方には、「退院証明書」をお渡しします。紛失しないように保管をお願いします。

9. 入院に関する診断書・証明書について

総合受付にて文書申込書をご記入の上、お申込みください。申込される方のご本人確認が必要になります。
各種書類については、お申し込み日から 10 日~14 日程度かかります。
内容等によっては、時間がかかる場合もありますので、予めご了承下さい。
各種生命保険・損害保険等に提出する場合は、専用用紙(所定様式)をお取り寄せの上、ご持参ください。

10. 入院中の他医療機関受診について

入院中の他医療機関(病院・診療所)への受診は制限される場合があります。
ご本人のかわりにご家族の方がお薬を取りに行かれる場合も届け出が必要になります。かかりつけ医などへの受診を希望される場合は、事前に主治医または看護師にご相談下さい。

11. 個人情報の保護について

当院では、患者さんに安心して医療を受けていただくために、安全な医療を提供するとともに、患者さんの個人情報の取り扱いにも万全の体制で取り組んでおります。

- 個人情報の利用目的について

当院では、患者さんの個人情報を下記に記載した目的で利用させていただくことがあります。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さんからの同意をいただくことになっております。

- 個人情報の開示・訂正・利用停止等について

当院では、患者さんの個人情報の開示・訂正・利用停止等についても、「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省の「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」に従って進めております。

[当院における個人情報の利用目的]

1) 医療の提供

- ・ 当院での医療・介護サービスの提供
- ・ 他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- ・ 他の医療機関等からの照会への回答
- ・ 患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- ・ 検体検査業務の委託その他の業務委託
- ・ ご家族等への病状説明
- ・ その他、患者さんへの医療提供に関する利用

2) 診療費請求のための事務

- ・ 当院での医療・介護・労災保険・公費負担医療に関する事務及びその委託
- ・ 審査支払機関へのレセプト提出・保険者への照会
- ・ 審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- ・ 公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提出、照会への回答
- ・ その他、医療・介護・労災保険、及び公費負担医療に関する診療費請求のための利用

3) 当院の管理運営業務

- ・ 会計・経理
- ・ 医療事故等の報告
- ・ 当該患者さんの医療サービスの向上
- ・ 入退院等の病棟管理
- ・ その他、当院の管理運営業務に関する利用

- 4) 企業等から委託を受けて行う健康診断等における企業等へのその結果の通知
- 5) 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等
- 6) 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- 7) 当院内において行われる医療実習への協力
- 8) 医療の質の向上を目的とした当院内での症例研究
- 9) 外部監査機関への情報提供

12. 身体拘束最小化に向けた取り組み

当院では、急性期及び回復期リハビリテーションを行っております。寝たきりであったのが起きられるようになる。車椅子に移れるようになる。歩けるようになる。それぞれの段階で、大きな喜びがあります。しかしそれと同時に安全に行うことができない間は、常に転倒・転落の危険性があり、時には頭部外傷や骨折を招く可能性があります。この危険性をゼロにすることは極めて困難です。スタッフはこのことをよく考え事故の防止に努めますが、時として事故の起こることがありますので、この点をよくご理解ください。安全だけを考えると、車椅子やベッドに身体を紐やベルトで固定等の身体拘束を行うという手段があります。しかし、身体拘束を行うと、以下のような弊害が考えられます。

- ・ ご本人に多大な精神的苦痛を与え、尊厳を侵す。
- ・ 身体機能の低下や圧迫された部位の褥瘡の発生、食欲低下、心肺機能の低下、感染症への抵抗力の低下
- ・ ご家族の精神的苦痛
- ・ 医療スタッフの自ら行う治療・看護への自信や、意欲の低下

このような弊害を取り除き、温かい思いやりのあるサービスを提供するために、当院では緊急止むを得ない場合を除き、身体拘束をしない診療・看護の提供に努めます。

車椅子からのすり落ち・急な立ちあがり、ベッドからの転倒・転落による打撲や骨折を招くことを避けるために私たちは以下の取り組みを行います。

- ・ 車椅子乗車時の十分な見守り、座位姿勢の安定保持の工夫
- ・ ベッド臥床中の適切な巡回、安楽な体位の保持の工夫
- ・ 入院デイケア等、気分転換や活動意欲向上のための工夫
- ・ 低床ベッドの使用や、ベッドサイドにマットレスを敷く

こうした取り組みを行っていても、全ての転倒事故を防ぎきれない訳ではありません。不幸にして事故を招いてしまった時は、速やかに必要な治療をうけていただきます。そのようなことが起こらないよう、スタッフ全員で取り組んでまいります。

転倒を防ぐために身体拘束を行うのではなく、転倒の危険性をできる限り防止する体制を整え、身体拘束最小化に向けた取り組みを行う中でこそ、温かい思いやりのある医療サービス、看護サービスを提供させていただくことができると考えております。

13. 患者サポート相談窓口のご案内

当院では、患者さんやご家族が安心して治療、療養に専念できるよう、患者サポート相談窓口を地域連携室内に設置し、専任の担当者をご相談をお受けしております。主な業務は次の通りです。

○入院中・退院後の生活不安の相談

- ・ 入院中の生活について
- ・ 通院が困難な場合の訪問診療、訪問看護、外来での受診方法など
- ・ 介護保険制度の説明、退院後の制度利用の援助
(サービス事業所、入所施設のご紹介など)
- ・ 地域での福祉制度について

○社会保障制度の利用援助

- ・ 入院費など経済的不安について(高額療養費制度の利用)
- ・ 身体障害者手帳手続きについて
- ・ 年金、健康保険について

○支援体制として、以下の取り組みを実施しています。

- ・ 外来や病棟など、患者さんに関わる各関連部署でも、患者さんやご家族からの相談に対応します。
- ・ 各関連部署から相談依頼や相談報告を受け、相談内容に応じて関連部署と連携・協働して支援します。
- ・ 相談対応に関して、調査や情報収集の必要な場合は、カンファレンスや関連部署等との検討会議を開催し対応します。
- ・ 相談対応について、サポート体制の取り組みの評価と見直しを行い対応の充実を図ります。

その他相談したい内容がございましたら、地域連携室へお気軽にお問い合わせ下さい。

おおぞら病院 地域連携室

(相談受付時間)

月～金：9時～13時、14時～18時

土：9時～12時